

2008年9月4日

ロボットサービスイニシアチブ

ロボットサービスイニシアチブ (RSi) が
ロボットサービスのビジネス化に向けて機能強化した
Robot Service Network Protocol 2.0 (RSNP2.0)を公開

ロボットサービスイニシアチブ(代表：内山 隆 株式会社富士通研究所取締役, RSi)は、本日よりネットワークを活用したロボットサービスを実現する Robot Service Network Protocol 2.0 (RSNP2.0)を公開します。

RSi では今回の RSNP2.0 の公開を契機に、幅広い業界から会員を募るとともに、サービスロボットの普及に向けた取り組みをさらに具体化していきます。

RSNP2.0 の特徴

今回公開する Robot Service Network Protocol 2.0 (RSNP2.0)は、ネットワークを介した様々なサービスをロボットにより提供するための標準仕様です。2006年10月に公開した RSi プロトコル仕様書第1版を踏まえ、それ以降に行ってきた実証実験などによって得られた知見をもとに、ロボットサービスへのニーズに即して全面的に改訂しました。また、これを機に仕様や関連するソフトウェアに RSNP という名称を定めました。

RSNP2.0 では、ビジネスとしてロボットサービスを実現するために必要なセキュリティ機能の強化とサービス側からの能動的な通知機能を盛り込みました。これによって、家庭や公共施設などのプライベートネットワークにサービスロボットを接続した場合にも、セキュリティを保ちながら、防災情報など速報性が求められる情報を即時にロボットが受け取ったり、サービスプロバイダーからの遠隔操作を受け付けたりできるようになります。

RSNP2.0には、以前と同様にロボットとサービスを結ぶ基本的な機能のほか、ロボットの動きの制御、画像・音声のやり取り、情報・コンテンツの提供の仕組みを含み、さらに、ロボットのセンサ情報のアップロードの仕組みも新たに盛り込みました。また、ロボットの自律的な動作を伴う一定規模のサービス(タスク)をロボットに実行させるための仕組みも加え、これにより、店舗や公共空間でロボットを用いたサービスを行いたいというニーズにも応えられるものとしています。

仕様の公開

ロボットの普及とともに、ロボットを活用したサービスやビジネスが自由に広がっていくためには、多くのロボットが公開された統一仕様に対応することが望ましいと考えられます。RSi ではこの「ロボットにおけるオープン化」を推進するため、RSi 会員以外も利用できるように RSNP2.0 の仕様書を従来どおり一般公開します。この仕様書の入手をご希望の方は、RSi のホームページからダウンロードした請求フォームに必要事項をご記入の上、RSi 事務局にご送付ください。

また、RSNP2.0 の特徴・技術的詳細について、9月9日から11日に開催される「第26回 日本ロボット学会学術講演会」のオーガナイズドセッション「ロボットサービスイニシアチブ(RSi)の共通仕様と新しいロボットサービス」で、関連した活動状況とともに紹介します。本セッションの日時は以下の通

りです。

日時: 2008年9月11日 13:00~15:00

会場: 神戸大学 工学部キャンパス (兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1) 第 B 室 (LR201)

タイトル: 3B2「ロボットサービスイニシアチブ(RSi)の共通仕様と新しいロボットサービス」

今後の活動

RSi では現在, RSNP の拡充とともに, 気象情報・防災情報の配信による定常的な実証実験を行っています。また, (独)産業技術総合研究所と協力し, RT ミドルウェア (※) と RSNP の相互接続を行うなど, 他の相互補完的な仕様・活動との連携も進めています。

今後は, RSNP を活用したサービス例の試作・公開や, サンプルプログラムの提供などを検討しており, IT や一般サービス業などにもわかりやすく, 参加しやすい活動を目指します。

RSi へのご入会をご希望の方は RSi 事務局までお問い合わせください。

ロボットサービスイニシアチブ(RSi)について

RSi(<http://www.robotservices.org>)は, ロボットによる通信ネットワークを活用した魅力あるサービス(ロボットサービス)を簡単かつ便利に利用できる社会を目指し, 相互運用性のあるロボットサービスについて関連団体と協力・連携しながら仕様の作成・公開, 実証実験, 普及促進を行うことを目的に設立された団体です。

現在, 三菱重工業株式会社, 富士通株式会社, 株式会社富士通研究所, 株式会社東芝, 株式会社ビジネスデザイン研究所, 財団法人日本気象協会, 日本電気通信システム株式会社, 株式会社セック, 株式会社ライトウェア, 株式会社日立製作所の 10 団体が会員となっています。

本件に関する問い合わせ先

RSi 事務局

担当 : 濱田 (日本ロボット工業会内)

E-mail : tech@jara.jp

電話 : 03-3434-2919

<http://www.robotservices.org>

※RT ミドルウェア

ロボットシステム開発用のソフトウェア基盤技術。ロボットの機能部品をモジュール化し, そのモジュール化された機能部品を組み合わせ, ユーザーの要求に応えるサービスを提供するシステムを構築するための一連のソフトウェア技術である。この技術により, 設計者が簡単に効率良くロボットシステムを組み上げていくことを可能にする。

以上